

好評のうちに終了いたしました。ご参加ありがとうございました。

『腎（好腎好日）セミナー 腎病変を読み解く』

医療関係者の方々、コロナ禍で悶々としながらお過ごしのことと存じます。

どんな状況下におきましても、ひと時の学びの心は持つことは、安らぎかもしれません。

本機構におきましては山中宣昭先生が主宰されております東京腎臓研究所を機構の研究機関として設置させていただきました。今回、その活動として Web での腎病理セミナーを開催したいと思っております。

皆様のご参加をお待ちいたしております。

一般社団法人腎臓血管加齢医療研究機構
代表理事 湯村 和子

記

●日 時：2021年12月25日（土）15:00～17:30

●形 式：Web 開催（Zoom）

●定 員：50名

●参加費：2,000円

●プログラム

総合司会：湯村 和子（東北医科薬科大学病院）

病理司会：本田 一穂（昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門）

1. メサンギウムが障害され進展したらどのような病変が形成されるのか
山中 宣昭（東京腎臓研究所）
2. 基底膜サイドの障害が起こると内皮細胞、上皮細胞さらにはボウマン嚢への波及にはどのような病変が起こるのか
長田 道夫（板橋中央総合病院病理診断科）